

一般社団法人 日本民間放送連盟

The Japan Commercial Broadcasters Association

自動車における

ラジオのニーズと必要性

2025年7月



はじめに

車内で様々なメディアに触れることができる現在において、民放連では、自動車ユーザー（搭乗者）の車内でのメディア利用の実態を把握するための調査を実施しました。

本レポートは、そこから見えてきた 車内におけるラジオのニーズや必要性

をまとめたものです。



- 今回の調査回答者は、メディア利用率が世間一般より高いことにご留意ください。
- 高い理由は、自動車乗車時に音楽・ラジオ・テレビ・動画配信コンテンツ・DVD/Blu-ray いずれかのメディアを利用かつメディア選択決定権がある人を対象者にしているためです。
- 乗車中にメディア接触をせず、「運転」「同乗」「同乗しながらゲーム・ネット検索」などを行っている人たちは今回の調査回答者には含まれておりません。

Summary

Point

1

ラジオは
車内で高い利用率

車内メディア利用率

ラジオ

57.7%

Point

2

車の価値向上につながる
『radiko』

『タイムフリー機能』

『Podcast機能』

『高音質（ノイズがない）』

『楽曲情報』

Point

3

災害に強いラジオの
公共的役割

地震等からの避難時に
役に立った情報源

ラジオ

62.3%



Point

1

ラジオは車内で高い利用率

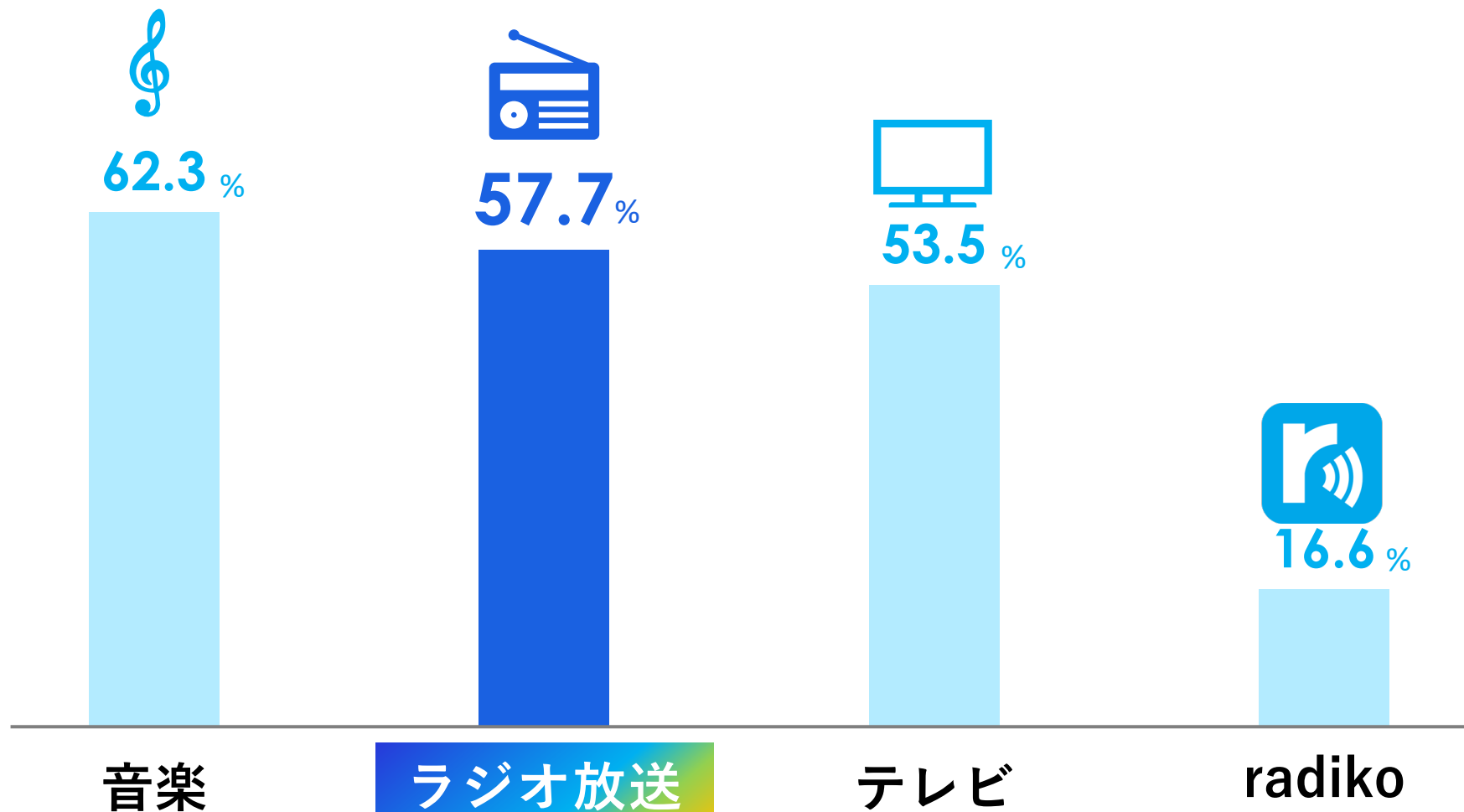
- 調査期間 2025年2月6日（木）～11日（火）
- 回答者数 5442人
- 調査エリア 全国47都道府県
- 対象年齢 15-69歳
- 調査対象者
 - ・ 自動車を3か月に1日以上利用している人
 - ・ 自動車乗車時に次に記載のメディアいずれかを利用し、メディア選択決定権がある人（音楽／ラジオ／テレビ／動画配信コンテンツ／DVD・Blu-ray）



車内でのラジオ利用率は高い

車内メディア利用率

n=5442



※CDなど経由、
配信サービスは除く

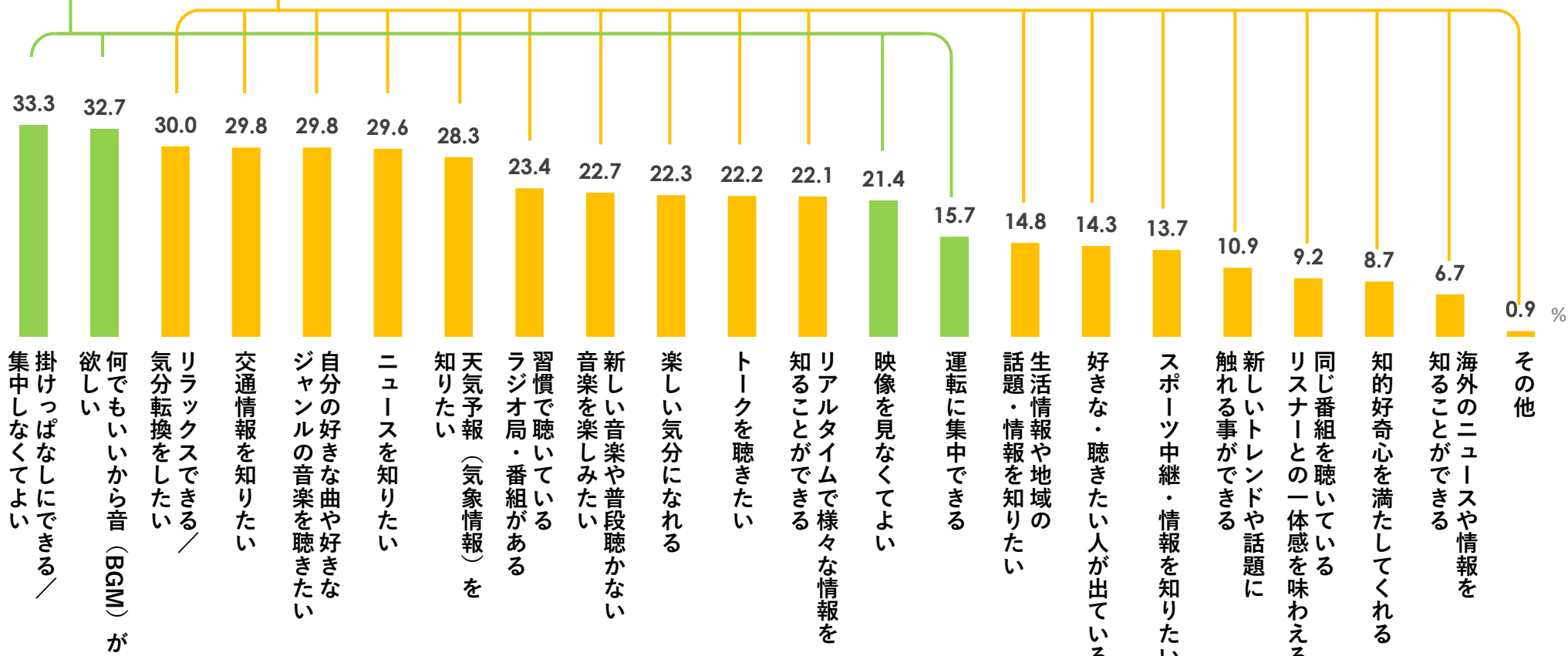
ラジオは運転中に最適なメディア

車内ラジオの聴取理由

n=3130 (車内ラジオ・radiko聴取者)

受動的的理由 運転中に適した利用方法がとれる

能動的的理由 情報とコンテンツに触れられる



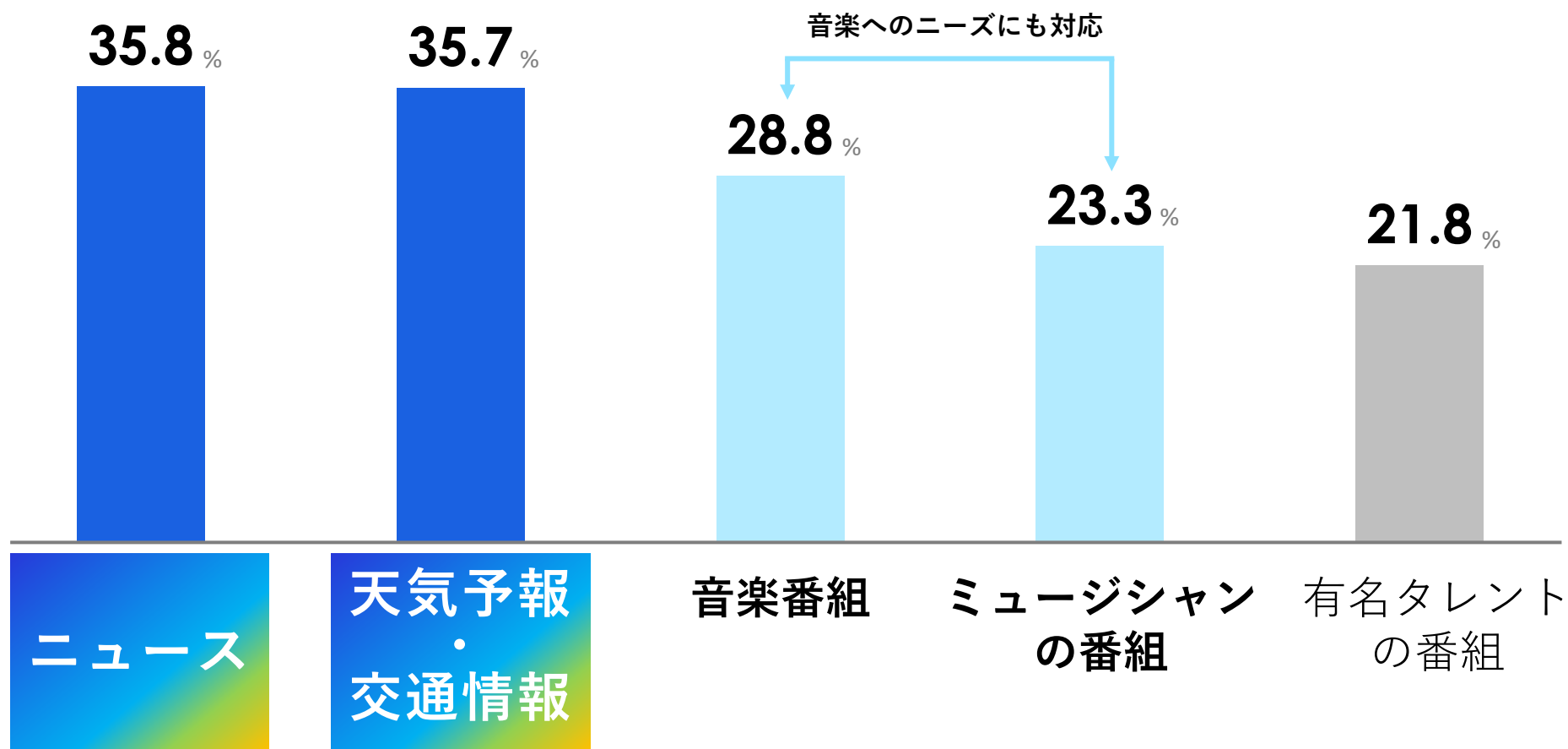
ラジオは様々なニーズを満たせるメディア



車内ラジオ聴取ジャンル TOP 5

n=3130 (車内ラジオ・radiko聴取者)

信頼できる情報源からリアルタイムで
情報を得られるメディアである





Point

2

車の価値向上につながる『radiko』

- 調査期間 2025年2月6日（木）～11日（火）
- 回答者数 5442人
- 調査エリア 全国47都道府県
- 対象年齢 15-69歳
- 調査対象者
 - ・ 自動車を3か月に1日以上利用している人
 - ・ 自動車乗車時に次に記載のメディアいずれかを利用し、メディア選択決定権がある人（音楽／ラジオ／テレビ／動画配信コンテンツ／DVD・Blu-ray）



radiko



【radiko参加局】
民放ラジオ全99局・NHK（ラジオ第1、NHK-FM）



スマートフォンやパソコン等で ラジオやPodcastが基本無料で聴けるサービス

家の中はもちろん、
通勤通学などの移動時にも時間や場所を選ばず、
手軽に音声コンテンツを楽しむ



ライブ機能



タイムフリー



Podcast



※「タイムフリー」無料：過去7日以内に放送されたラジオ番組を聴くことが可能

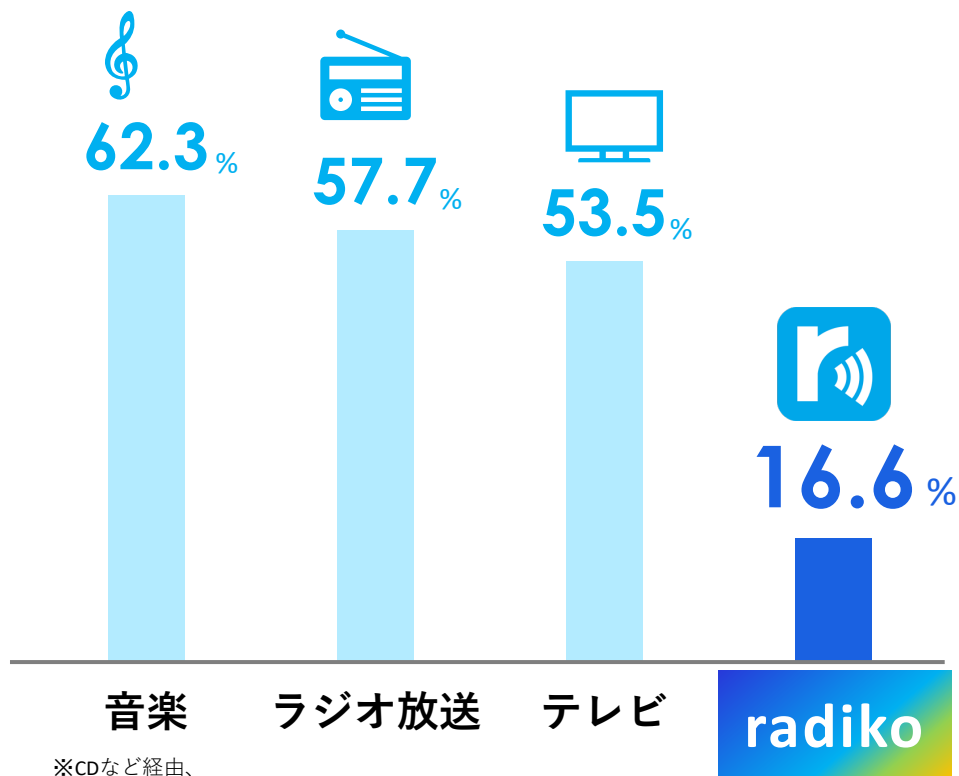
月間利用者 約850万人 ユーザー層は40-50代（55%）が中心

10代：4% / 20代：13% / 30代：16% / 40代：26% / 50代：29% / 60代以上：12%

車内でのradiko利用状況

車内メディア利用率

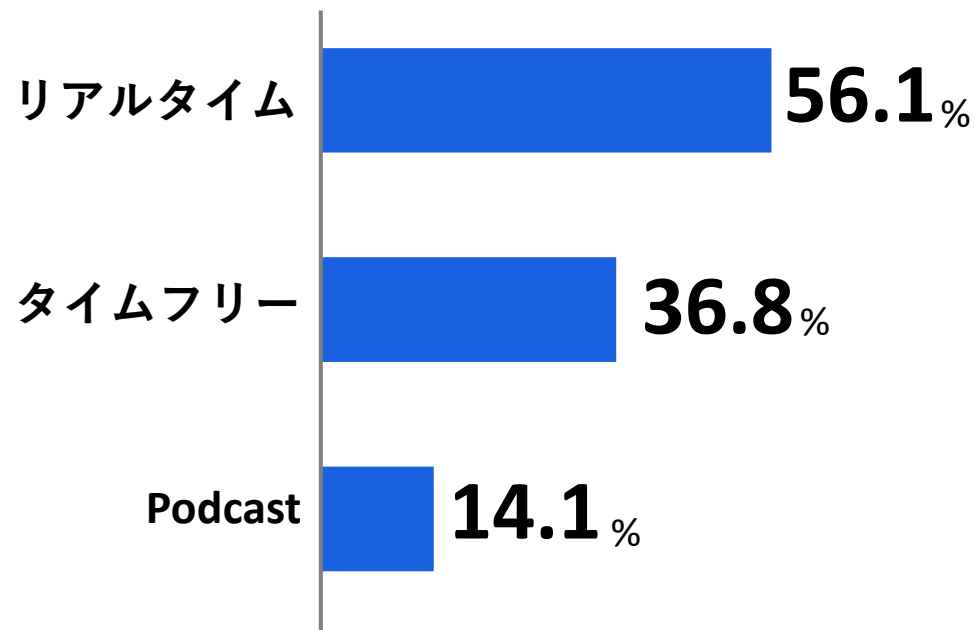
n=5442



※CDなど経由、
配信サービスは除く

車内でのradiko利用サービス

n=798 (車内でradiko聴取者)



radikoは乗車時のラジオ利用体験をより豊かに

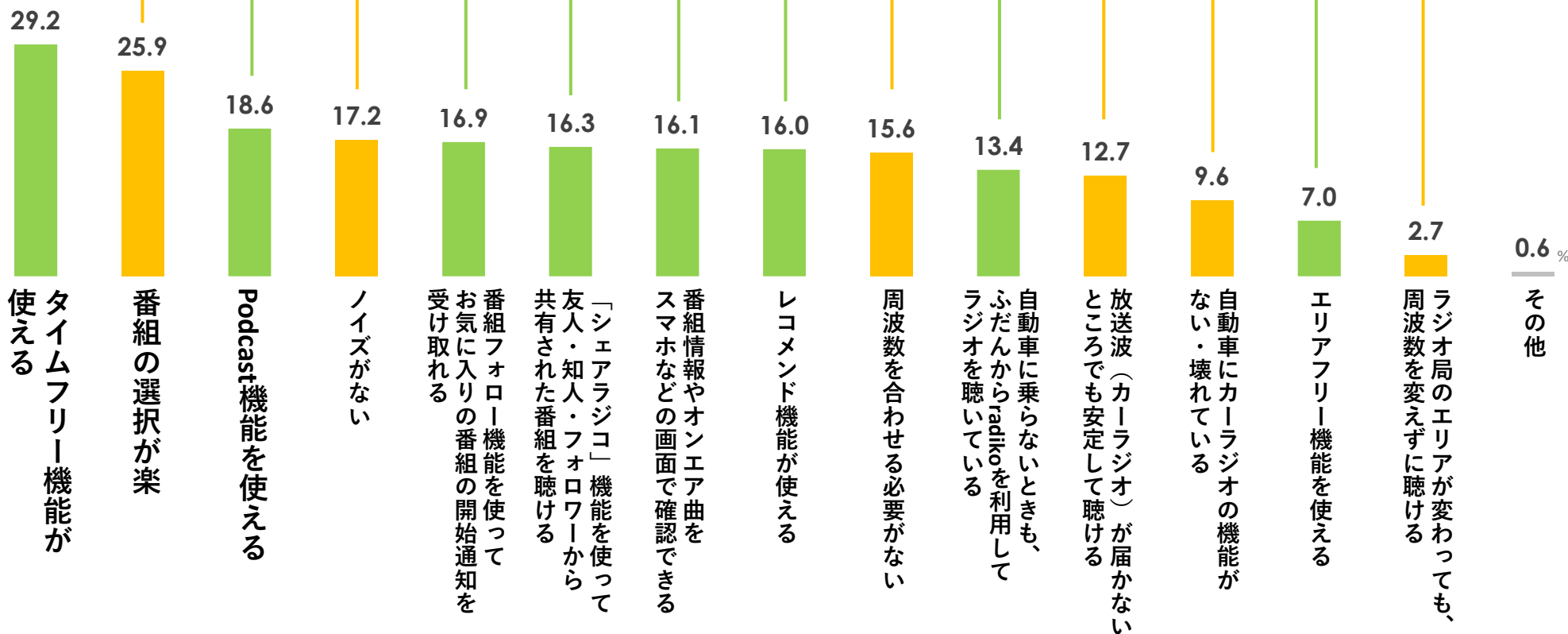


車内でのradiko利用理由

n=798 (車内でradiko聴取者)

カーラジオにない機能

カーラジオ (放送) を補完する機能



radiko聴取機能は車の付加価値となる

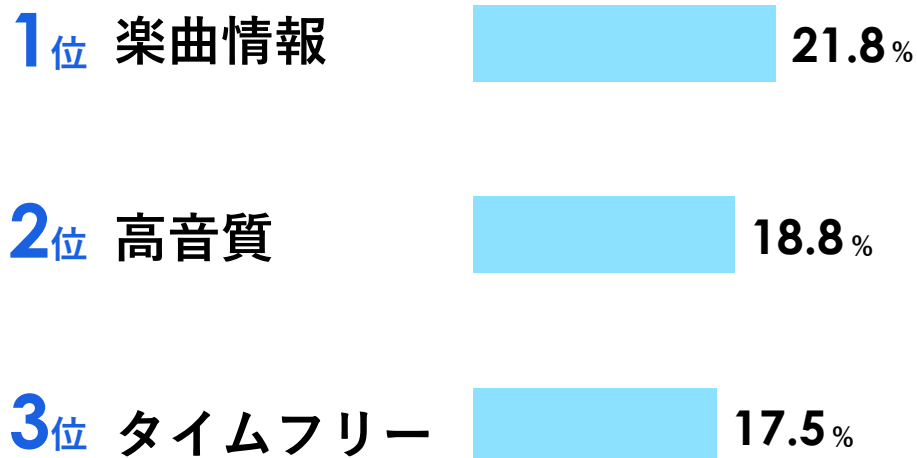
radikoが補完可能なラジオの機能・サービスが
自動車ユーザーの乗車体験向上、新しい付加価値に繋がる

【ラジオ利用喚起サービス TOP3】

Q. カーラジオあるいは車内でのradiko利用時にどのような機能、サービス、得られる情報があったら、ラジオ／radikoをより聴きたい、あるいは便利だと思いますか

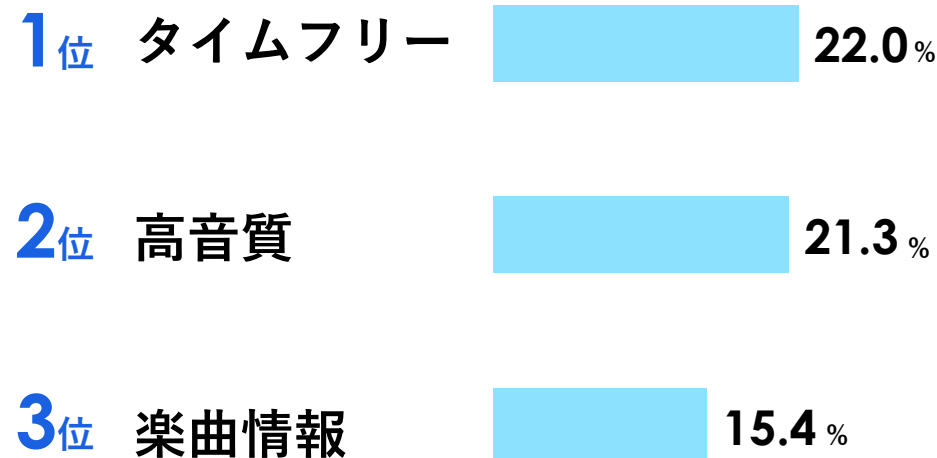
車内ラジオ聴取者

n=3055 (車内ラジオ聴取者)



車ではラジオを聴かない人

n=343 (車以外でのみラジオ聴取者)



Apple Carplay、Android Auto への対応

現在、radikoと連携し、
Apple CarplayやAndroid Auto[※]への
対応をはじめとした車載機との
接続利便性を高めるべく取り組み中。



※2025年7月、radikoアプリが新たにApple CarPlay・Android Autoに対応
<https://news.radiko.jp/article/edit/123537/>

radikoをより使いやすく

ニーズが確認された
楽曲メタデータの充実など、
radikoのUI・UXの向上に取り組みます。





Point

3

災害に強いラジオの公共的役割

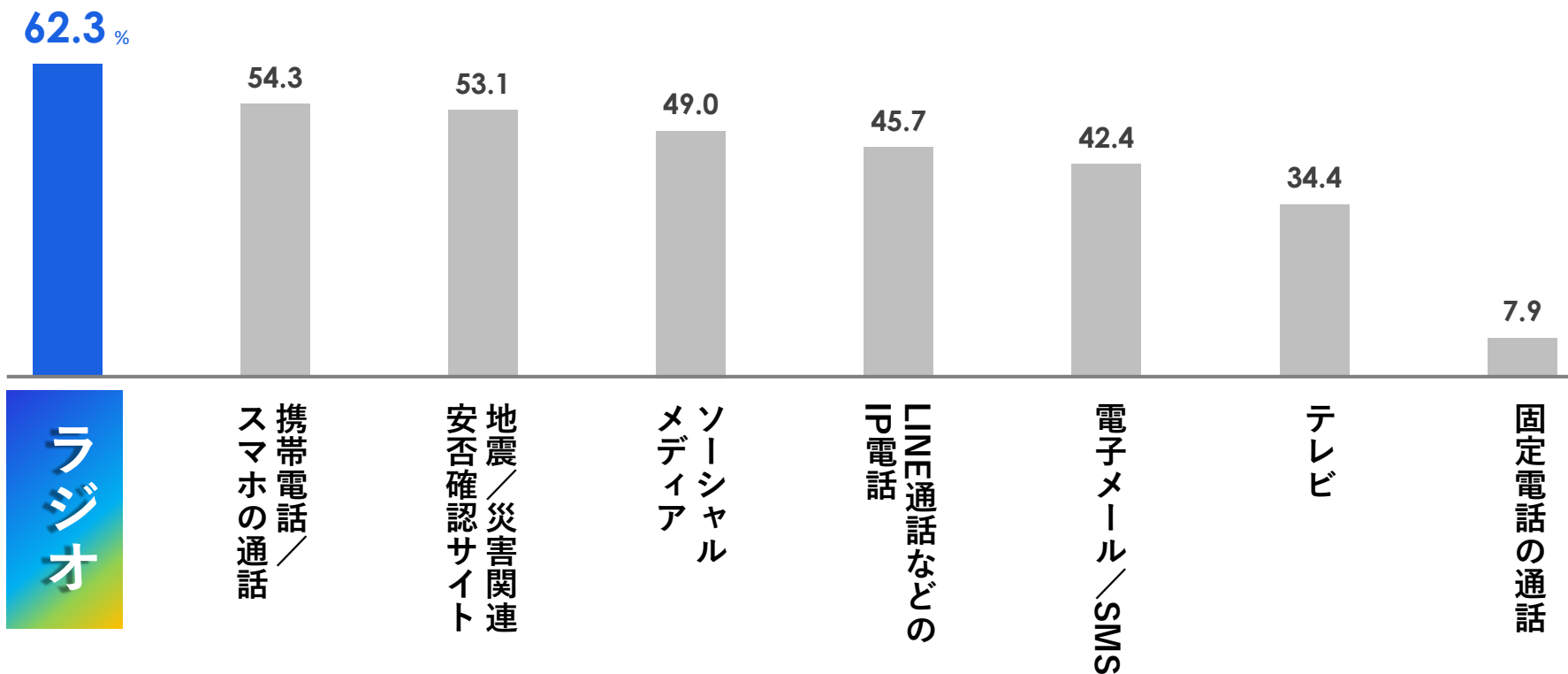


ラジオは災害に強いメディア

地震等からの避難時に役に立った情報源

車中で被災・車中泊をすることも推定されるため、ラジオが情報を入手するライフラインに。
命をまもるメディアとして備えておきたい機能

ラジオは受信機と乾電池さえあればいつでもどこでも聴くことができるメディア



ラジオの公共的役割

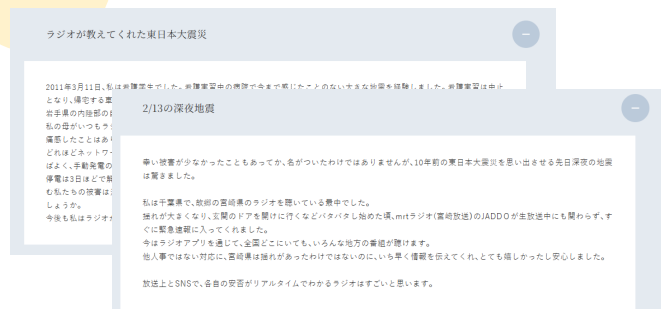
ラジオの証言 ～災害を語り継ぐ～

民放連は2020年度から2年間、NHKと共同でラジオ局が取材した災害現場の当事者の声を「ラジオの証言」として特設サイトに掲載。豪雪災害で立ち往生の被害に会い、一昼夜を車中で過ごした際に情報を得るのにラジオが役立ったという証言もある。

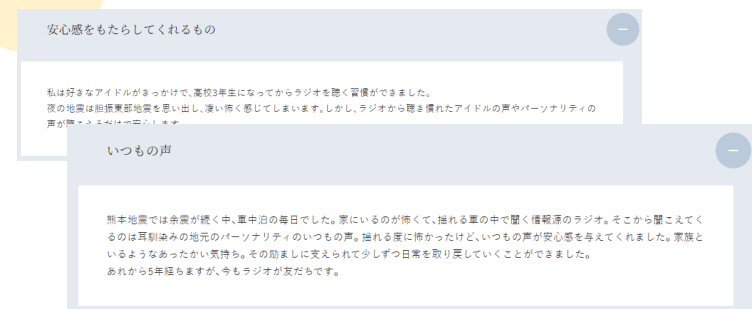
また、災害時に安心感をもたらしてくれるものという声もあがっている。 <https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12251770/radionoshogen.com/>



『災害時の信頼できる情報源』



『災害時に安心感を与えてくれる』

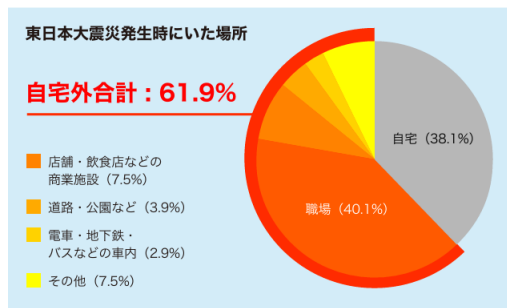


防災ラジコ ファクトブック

<https://radiko.jp/rg/bousai/factbook/>

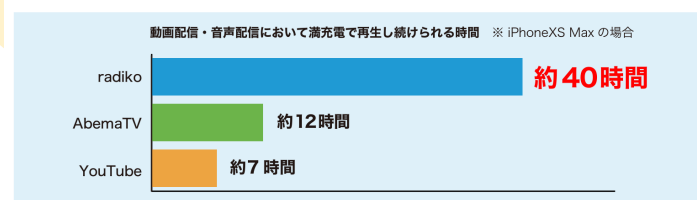
radiko
災害時にはスマホでラジオ
防災ラジコ

『災害時の居場所は自宅外が多い』



参照資料：東京都生活文化局 消費生活部生活安全課調べ

『ラジコはバッテリーが減りにくい』



参照資料：角川アスキー総合研究所 主要コンテンツ配信アプリの通信量/バッテリー消費量調査

ラジオの公共的役割



radiko
災害時にはスマホでラジオ
防災ラジコ

- 『災害時の信頼できる情報源』
- 『災害時に安心感を与えてくれる』
- 『災害時の場所は自宅外が多い』
- 『ラジコはバッテリーが減りにくい』

2018年の北海道胆振東部地震のように広域で停電が発生した際、いち早く信頼できる情報を、場所を選ばず得られるラジオは非常に有用である。

被災時には車中泊を余儀なくされることがあり、ラジオが自動車の「ベーシックサービス」と位置付けられてほしい。カーラジオ（放送）を補完する強みを持つradikoアプリの搭載も検討いただきたい。

- ラジオにはテレビを、radikoには放送を補う強みがある。「放送と通信」の連携・協力が、災害レジリエンス能力を高める。
- 広域大規模災害を想定すると、日常的にスマートフォンでradikoを聴く習慣を全国に広めておくことが災害対策に繋がる。

Point

1

ラジオは
車内で高い利用率

引き続きラジオ機能
(カーラジオ) は必須

Point

2

車の価値向上につながる
『radiko』

radikoは車内の
ラジオ利用体験を向上

Point

3

災害に強いラジオの
公共的役割

災害時などに
ユーザーの命をまもる

一般社団法人 日本民間放送連盟 The Japan Commercial Broadcasters Association

「自動車におけるラジオのニーズと必要性」

2025年7月

